



発行
日本共産党
寝屋川議員団
072-824-1181
FAX:824-7760
No.3518

寝屋川市会議員
中林かずえ
宝町4-33
090-3944-8385

寝屋川市会議員
松尾信次
下木田町12-6
090-3056-9924

寝屋川市会議員
西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前寝屋川市会議員
太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

物価高騰支援 非課税3万円は不十分 市独自の支援策を

中林かずえ議員 一般質問で求める

水道基本料や子ども給食費の免除を

12月議会の中林かずえ議員の「物価高騰支援について」の一般質問を紹介します。

「いったい、いつまで物価高騰が続くのか」「新米がでたら、安くならないと言われていたお米が、5キロ3000円から下がらない、ほとんどの食料品が値上げで、ほしい食材が買えないなど、市民の悲鳴は、止まりません。」
★(問) 物価高騰の一番の特効薬である10%の消費税の引き下げを

国に求めることも、市としても、水道基本料や小学校などの子ども給食費の無償化を

求めます。
●(答) 重点支援地方交付金の財源を活用する中で優先度等を踏ま

え、物価高騰対策に取り組んでいく。

均等割り課税も3万円の対象にすべき

★(問) 国の非課税世帯に3万円、子ども1人に2万円の給付金では不十分です。以前、国や市が実施した均等割りのみ課税も対象にすること、ひとり親世帯を給付金の対象にすることを求めます。
●(答) 給付金等につ

いては、国が示す対象を基本に支援策を検討している。
★(問) 市内の①中小事業者、②医療、介護、障害、保育・幼稚園などに、電気代の高騰分の支援を求めます。
また、国の「重点支援地方交付金」の活用で

市独自の高騰支援を求めます。
●(答) 市内事業者への支援及びその他の支援策については、今後国から示される財源を活用する中で、必要度、優先度等を踏まえ取り組んでいく。

寝屋川支援学校の過大・過密化の解消を

中林議員は、寝屋川支援学校についても質問しました。
★(問) 本市の小・中・高校生が通う府立寝屋川支援学校は、児童生徒数が増え続けており、2026年度までの10年間で1590人も増える見込みで、教室が

不足しています。
この間、特別教室を普通教室にしたり、作業室を間仕切つて教室にするなど、工夫してきましたが、2024年度は10教室も不足しており、小中学生1クラス6人、高校生8人

の国の設置基準を超えて、クラス編成をせざるを得ない実態です。
市として、大阪府に對し、国の設置基準に基づいた施設となるよう新設を要望することを求めます。
●(答) 大阪府への施

設の新設要望は、大阪府都市教育長協議会を通じて要望しており、障がいに応じた環境整備については、中核市教育長会から国に要望しているところです。



一般質問する中林かずえ議員

水道料金基本料4か月間免除が実現

1月8日開催の市議会臨時議会で、物価高騰支援として、国の臨時交付金等を活用して、水道料金のうち基本料金を2025年をはじめから(偶数検針2月～5月、奇検針1月～4月)4か月間免除するための補正予算4億9572万円が可決されました。
財源は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が4億7589万円、寝屋川市の財政調整基金の取り崩しで1982万円です。

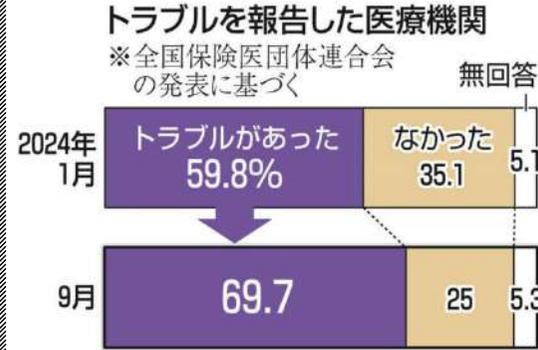
マイナ保険証への一本化は矛盾 12月議会 中林議員が一般質問

国保加入者の半数近くがひもづけなし 病院利用率はたった16%

12月市議会で中林議員はマイナ保険証について一般質問しました。

本市の国民健康保険のマイナ保険証の紐づけ率は、54.19%で、半数近くの加入者が紐づけしていません。

また、マイナ保険証の病院での利用率は8月でたった16.7%です。マイナカードそのものの、保有率も69.6%で、3割以上の市民はマイナカードを持っていない。



★(問) 国は、莫大な費用をかけて進めていますが、任意のマイナカード発行と任意の保険証へのひもづけに対し、マイナ保険証への一本化は矛盾です。

更新手続きや、ひもづけ作業での誤登録が避けられないなどのトラブルがある、マイナ保険証の強引な一本化はやめるよう、国に要請することを求めます。

現保険証との併用を求める

0月末まで、後期高齢者医療で7月末まで利用できます。その後、マイナ保険証でない人には、現行保険証と同じ内容の「資格確認証」が発行されます。



一体化については、国府の通知等に基づき、適切に対応するが、保険証の廃止に伴い、被保険者に混乱や不利益が生じないように、引き続き、要望する。

また、後期高齢者医療では、さらにもう1年、特別に、マイナ保険証の人にも、資格確認証が職権交付され、併用が可能です。

府立寝屋川支援学校の過密化解消等を求める意見書など3本が採択

大阪府立寝屋川支援学校の「過大・過密」、教室不足の解消を図り、教員の適切な配置を求める意見書」が採択されました。



寝屋川支援学校

慢性的な教室不足、教員不足解消のため、北河内地域に小学部・中学部・高等部のある知

大阪SACHIC存続の意見書採択

そのほか、「性暴力救済センター・大阪SACHICの存続と体制強化を求める意見書」(日本共産党提案)と、「再審法改正を求める意見書」の計3本が全会一致で採択されました。

法律相談のご案内

日時：1月16日(木)

午後6時半～
場所：寝屋川市委員会
予約をお願いします。

議員日誌



中林かずえ

昨年11月で松屋町での松屋カフェで開催させていたでいた、「中林かずえの市政報告と暮らし何でも相談会」が1年を迎えました。

ので、松屋カフェの生活相談を午前9時から早めてもらい、しうかりモーニング食をいただいで市役所に向かいました。

昨年最後の12月26日には、「朝、弱いから行きにくい」や「11時から仕事なので行けないかも」と言われていた方が参加してくれました。

人が集うということは元気をいただけです。長く地域福祉に関わってきた方から「薬とお酒の併用で、時間を持て余している高齢者を見かける。地域で安心できる居場所があれば良いの」とのご意見をいただきました。

この日は、朝から寝屋川市駅で年末宣伝後、急ぎよ、議会運営委員会が開催された

「子ども食堂」に加え、「シルバー食堂」も必要かなと感じます。利用しやすい医療や介護の充実を求めるともに、引き続き皆さんのご意見をお待ちしています。



松屋カフェモーニング